



# ふくち基弘

## 県政だよりvol.61

### INDEX

- 広島県保健医療計画など6計画を集中審議
- 生活福祉保健委員会にて県外調査
- 9,538億9,000万円の一般会計当初予算等が上程

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先 : ふくち基弘事務所  
 広島県広島市西区己斐上2-36-7  
 電話/FAX 082-271-5369 e-mail : fucci7@enjoy.ne.jp



# 広島県保健医療計画など6計画を集中審議



生活福祉保健委員会における集中審議の様子

1月19日の生活福祉保健委員会に提出された6本の計画案について集中審議を行いました。

まず2月15日に「健康ひろしま21」、「広島県食育推進計画」、「広島県歯と口腔の健康づくり推進計画」の3計画の素案について、さらに2月19日には「広島県保健医療計画」、「広島県がん対策推進計画」、「広島県医療費適正化計画」の3本の計画の素案に対する集中審議を行いました。

「健康ひろしま21」では、ロコモティブ・シンドローム対策、ヘルスケアポイント

制度の普及促進や障がい者の健康づくりなどについて、「食育推進計画」に関しては、学校の栄養教諭の全校配置に向けた方向性や保育所への栄養士の配置への検討することについて、また食育推進のためにネウボラを活用することについて、さらに「歯と口腔の健康づくり推進計画」に対しては、乳幼児期のフッ化物塗布に向けた取組について、また子どもの歯科健康格差が貧困や虐待につながっている現状に対する取組などについてそれぞれ質疑が行なわれました。

また、「広島県保健医療計画」に関しては、ひろしま医療情報ネットワークが救急医療の現場で運用できていないことや、他県のネットワークとの相互利用が可能にもかかわらず十分活用されていない現状をふまえ、他県とのネットワークの共通化や登録者の増加に向けた取組について、被爆者医療における被爆二世・三世への対応について、また発達障がいの診療待ちが半年以上となるなど特定の医療機関に患者が集中することへの対応や、医療的ケアが必要な障がい者や難病患者に対し親や保護者なき後には公的施設で対応すべきことなどについて、質疑が行なわれ意見が述べられました。さらに「広島県がん対策推進計画」ではがん教育への取組やがん治療と仕事の両立に向けた支援などについて、「広島県医療費適正化計画」については、本県における後発医薬品(ジェネリック)の使用割合が全国に比べ低いことをふまえた利用拡大への取組などについて質疑が行なわれました。

# 生活福祉保健委員会にて県外調査



1月29日から30日にかけて、生活福祉保健委員会で県外調査を行いました。まず、北九州市立子育てふれあい交流プラザを訪問し、子育て支援の地域活動の活性化を図る取組について調査しました。当施設は3,000㎡以上の面積を有し、木をふんだんに使った遊具、落書き広場やハイハイ広場など12の遊び場を整備するとともに、親の子育て相談やリフレッシュスペース、就労相談コーナーなども設置しており、北九州市は政令指定都市で「子育てしやすい街No. 1」となっています。

また九州国際重粒子線がん治療センターの運営状況や、地方独立行政法人筑後市立病院の経営状況などを調査しました。

さらに、トータルケア・システム(株)における紙おむつのリサイクルシステム構築に向けた取組などを調査しました。同社は、回収された使用済み紙おむつを水溶化処理技術を用いて分離し、上質パルプを建築資材の原料として再利用するなどのシステムを確立するとともに、医療・福祉機関、紙おむつメーカー・販売会社などが資本参加して協働して取り組む資源循環システムを構築しています。



紙おむつのリサイクル現場の様子

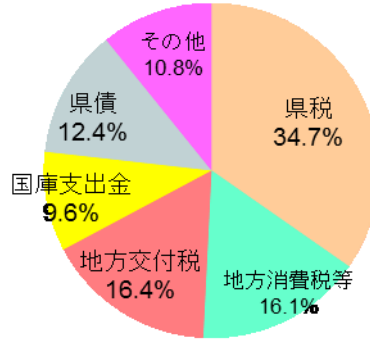
# 9,538億9,000万円の一般会計当初予算等が上程

2月16日に広島県議会2月定例会が開会し、一般会計総額9,538億9,000万円、特別会計6,055億円、企業会計605億円の平成30年度当初予算案などが上程されました。さらに、2月定例会の会期は3月14日までと決定され、この会期中に新年度予算についての審議を常任委員会で行なうとともに予算特別委員会を設置して集中的に審査を行なっていきます。

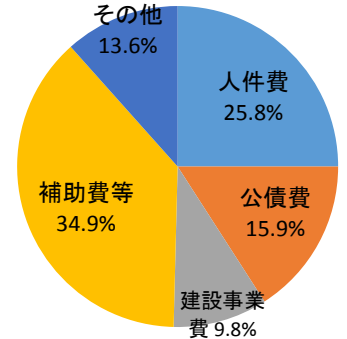
新年度の施策と事業の基本的な考え方は、県民の皆さんが仕事や暮らしに抱く希望をあきらめることなく追求することができる「欲張りなライフスタイル」の実現に向け最大限の効果が得られるような取組を進めるための予算編成としています。

一般会計歳入・歳出総額 9,538億9,000万円

歳入の構成



歳出の構成



## 平成30年度の主な施策と事業案

- 希望をかなえるための後押し(事業費 113億円)
  - ・「学びの変革」牽引プロジェクト 38億700万円
  - ・多様な保育サービス充実事業 26億4900万円
  - ・女性の活躍促進事業 1億1100万円
  - ・若年者就職による社会減対策事業 3300万円
- ゆとりの創出 (事業費 109億円)
  - ・働き方改革推進事業 9200万円
  - ・地域産業IoT等活用推進事業 3億4900万円
  - ・企業立地促進対策事業 39億8000万円
  - ・ひろしま農業創生事業 1億5700万円
  - ・地域医療介護総合確保事業 35億4700万円
  - ・社会福祉施設整備費補助金 5億8000万円
- 地域活力の基盤づくり (事業費 8億円)
  - ・広島西飛行場跡地活用推進事業 5億5600万円
  - ・広島空港経営改革推進事業 3100万円
- 暮らしを楽しむ機会の創出 (事業費 3億円)
  - ・メキシコ選手団事前合宿受入推進事業 6900万円
  - ・パラムーブメント推進事業 5000万円
- 災害に強いまちづくり (事業費 211億円)
  - ・防災・減災対策事業 189億9800万円
  - ・県土保全対策の推進 19億9800万円
- 広島の価値の共鳴・共振 (事業費 4億円)
  - ・国際平和拠点ひろしま構想推進事業 1億3200万円
  - ・ひろしまブランド推進事業 2億9800万円

## 湯崎知事に要望書を提出

1月17日、ふくち基弘が所属する会派、民主県政会として新年度施策についての要望書を湯崎知事に提出、地域課題や道路整備事業などを要望しました。



## 特別会計について

前回のアンケートで、特別会計の内容について記載してほしい、とのご要望を頂きましたので、回答させていただきます。

特別会計は、一般会計とは別に設けられ、特定の歳入で特定の事業を行うため、独立した経理管理が行なわれる会計のことで、平成30年度の広島県の特別会計予算の総額は6054億6500万円ですが、来年度、国民健康保険の運営主体が市町から県に変わるため、新たに「国民健康保険事業費特別会計2549億円」が予算化されました。

### 特別会計の主な内訳

公債管理特別会計	3126億円
港湾特別整備事業費特別会計	153億円
流域下水道事業費特別会計	85億円
証紙等特別会計	54億円